

水安全計画

【概要版】

令和5年4月

田布施・平生水道企業団

1. はじめに

田布施・平生水道企業団では、田布施川の伏流水を水源とし、取水・浄水処理した後に水道水としてお客様にお届けしています。しかし、ご家庭に水道水をお届けするまでの過程では、水源の汚染や配水管の破損等、水道水の安全をおびやかす様々なリスクが存在します。

そこで、それらのリスクを抽出・分析し、安全・安心な水道水を安定的にお客様へお届けするため、水源から蛇口までの総合的な水質管理を定めた「水安全計画」を策定しました。

2. 水安全計画とは？

定期的に行う水質検査に加え、水源流域から蛇口（給水栓）までの各過程（水道システム）において水道水質に悪影響を及ぼす危害を抽出し、水質基準を超過するおそれを早期に把握・判断するための監視方法及びその結果に対する管理基準を設定することにより、常に信頼性（安全性）の高い水道水をお届けするための計画です。

3. 水安全計画の概要

(1) 水道システムの把握

田布施・平生水道企業団の水道水は、2級河川田布施川の伏流水を水源とし、田布施浄水場にて浄水処理を行っています。浄水場から三宅配水池へ水を送り、自然流下でお客様のご家庭に水道水をお届けしています。

(2) リスクレベルの分類

危害原因事象について、発生頻度と影響過程から下記に示すとおり、リスクレベルを5段階に分類しました。

リスクレベル分類マトリックス

			影 響 程 度				
			取るに 足らない	考慮を 要す	やや重大	重大	甚大
発 生 頻 度	頻繁に起こる	毎月	1	4	4	5	5
	起こりやすい	1回/数ヶ月	1	3	4	5	5
	やや起こりやすい	1回/1~3年	1	1	3	4	5
	起こりにくい	1回/3~10年	1	1	2	3	5
	めったに起こらない	1回/10年以上	1	1	1	2	5

(3) 管理措置の設定

管理措置の内容

分類	管理措置
予 防	水質調査 施設の予防保全（点検・補修等） 設備の予防保全（点検・補修等） 給水栓・貯水槽における情報提供
処 理	塩素処理 沈殿（薬品沈殿） 砂ろ過（急速ろ過） 粒状活性炭処理 凝集 アルカリ処理

(4) 文書と記録の管理

運転・監視状況及び管理基準逸脱時の詳細等については、電子媒体あるいは書類にて適切に記録します。また、その記録については所定の場所に整理・保管し、日常業務に活用します。

4. レビュー（記録・検証・改定）

定期的実施状況の検証を行い、計画に基づいて適切に対応できているか、また監視方法及び管理基準が妥当であるかを確認します。検証の結果を踏まえて計画を見直し、安全・安心な水道水を安定してお客様にお届けできるように計画の改定を行います。

